株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告 当社ホームページに掲載いたします。ただし事故その他やむを得ない事由によって、電子公告により行うことができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会　3月31日 剰余金の配当　3月31日、9月30日		
単元株式数	100株		
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部		
証券コード	4283		

■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、以下の電話照会先にご連絡ください。

（株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関）	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社	（郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（株主名簿管理人事務取扱場所）	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部	（電話照会先）	0120-176-417
		（インターネットホームページ）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

ホームページのご案内

当社の企業活動、商品などに関する詳しい情報につきましては、「パナソニック電工インフォメーションシステムズホームページ」でご覧になれます。こちらもどうぞご利用ください。

http://panasonic-denkois.co.jp/

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

この冊子に関するお問い合わせ先
電話 06-6906-2801（代表）

※本誌に記載された社名および製品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

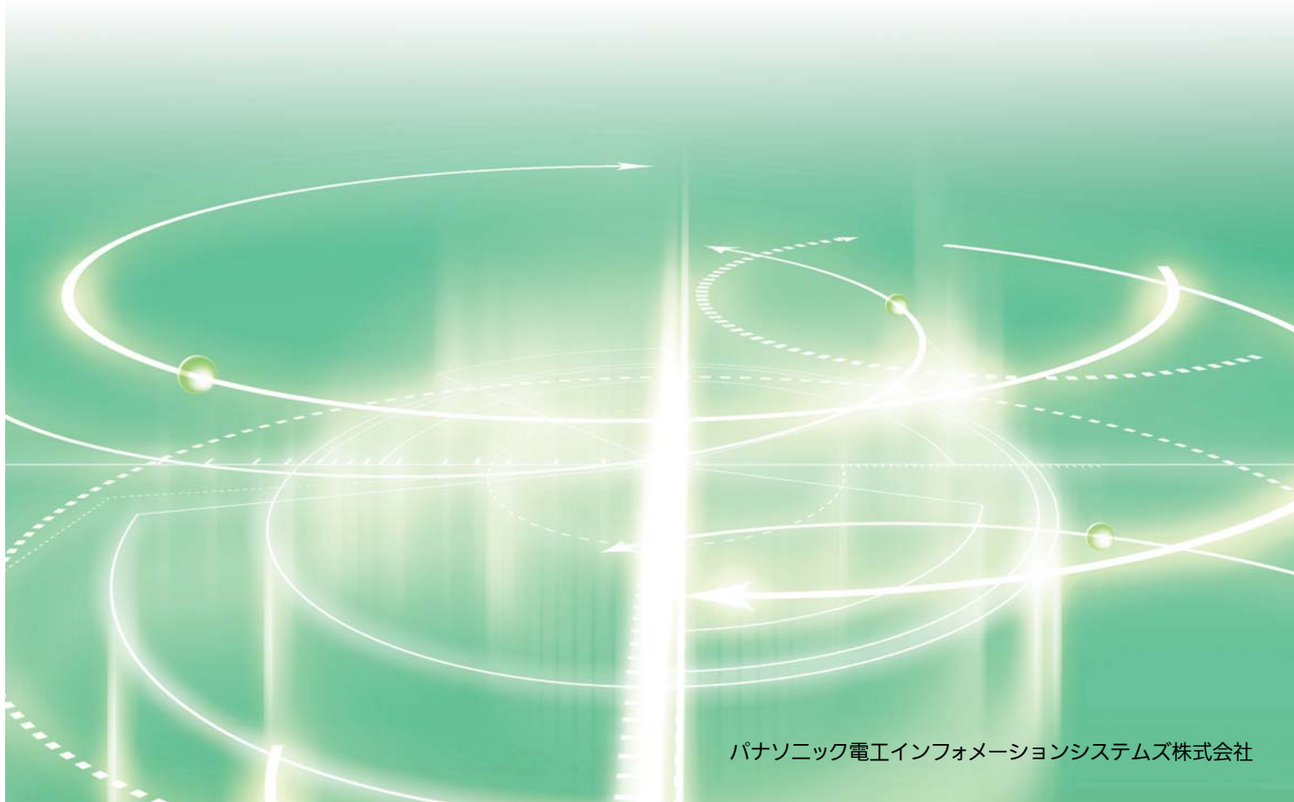
Panasonic
ideas for life

第13期　第1四半期

株主通信

平成22年4月1日～平成22年6月30日

証券コード:4283



パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

CONTENTS

2 株主のみなさまへ
3 特集　“すぐに”を実現!「新・東京オフィス」
5 トピックス
6 IT用語の解説／よくあるご質問について

ビジネスハイライト（平成22年4月～平成22年6月）

平成22年　4～6月

4月26日　平成22年3月期決算説明会（東京）

5月10日　パナソニック電工ネットソリューションズ
Web勤務管理システム「MajorFlow Time」発売

6月16日　第12回定時株主総会

6月21日　首都圏拠点を東京都中央区から東京都港区へ移転し、
「東京オフィス」に改称

当第1四半期　連結業績ハイライト

売上高	77億33百万円（前年同期比 11.4%減）
営業利益	7億41百万円（前年同期比 29.4%減）
経常利益	7億59百万円（前年同期比 27.9%減）
四半期純利益	3億97百万円（前年同期比 37.1%減）
1株当たり四半期純利益	37円35銭（前年同期比 22円01銭減）

ポイント

- 開発・営業体制の充実など、中期経営計画達成に向けた基盤整備を着実に遂行。
- 一方、厳しい事業環境は続いており、サービス提供価格の下落などにともなう減販の影響や、首都圏拠点の移転にともなう特別損失の計上などから減収減益に。

株主のみなさまへ

当第1四半期を振り返って

当第1四半期（平成22年4月1日～平成22年6月30日）におけるわが国経済は、新興国経済の成長を背景に輸出や生産が伸長し、緩やかな回復基調のもとで推移いたしました。一方、欧州の信用不安や米国・中国の景気の先行き懸念、国内における景気対策効果の一巡などから、持続した回復に向けては不透明感が増しております。

情報サービス産業では、企業の設備投資に下げ止まりの傾向が見え始めたものの、依然としてIT投資抑制傾向は続いていることから、厳しい状況のまま推移いたしました。

このような事業環境において当社グループは、平成22年度を初年度とする中期経営計画を策定し「パナソニック電工グループ外への売上比率35%の達成に向けた展開の強化」「重点顧客とのパートナーシップ強化」「新事業・新技術育成投資と連結売上高営業利益率12%台維持の両立に向けた経営体質強化」の3テーマに取り組んでおります。

当第1四半期におきましては、サービス提供価格の下落など厳しい事業環境を念頭におきつつも、中期経営計画達成に向けた基盤整備として営業力強化、開発体制の充実に取り組みました。この株主通信でもご紹介する東京オフィスの移転・拡張は、その一例です。また、お客さまの「最良・最適」を実現するソリューション・サービス・商品の提供にも努めてまいりました。

厳しい事業環境のなか、当第1四半期は、売上・利益ともに前年を大幅に下回る結果となりました。しかし、中期経営計画の達成に向けた取り組みは、スタートしたばかりです。そして、「『新』へのトライ」に全社をあげて取り組むなか、まいた種が、徐々にではありますが、着実に成果を結びつつあります。

お客さまの「最良・最適」を“すぐに”実現していくため、当社グループの強みである「現場力」をさらに磨き上げながら、役員・社員一同全力で目標達成に向けた取り組みを推し進めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
前川一博

“すぐに”を実現！
「新・東京オフィス」―新たな試み。

当社の首都圏拠点は、6月21日、東京都中央区から東京都港区に移転し、「東京オフィス」として新たなスタートを切りました。
東京オフィスでは、「オフィスそのものがショウルームでありノウハウ蓄積の場」と考え、お客さまに、より一層ご満足いただけるソリューションの展開を図ります。
今回は東京オフィスでスタートする新たな試みをご紹介します。

【東京オフィス】
〒105-6022　東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー22F
東京メトロ日比谷線「神谷町駅」徒歩3分
東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」徒歩5分

“すぐに”「お役立ち」をお届けするために

当社の首都圏展開は会社設立直後の平成12年、10人のメンバーでスタート。今や当時の10倍を超える規模にまで成長しています。大手のお客さまが増え、そのお付き合いが年々深まるなか、首都圏での売上も着実な伸長を続けています。
お客さまに「お役立ち」を“すぐに”お届けできる―それこそが「現場力」の強み。東京オフィスでは「徹底した使いこなしによるノウハウの充実」と「新しい『お役立ち』の種をまき、育てる」という2つのテーマにトライするIT実証オフィスをめざしていきます。

すぐにこの場で問題解決します	すぐにお手元に現場力をお届けします	すぐに対応する保守でいつも安心です
SOLUTION	KNOW-HOW	SUPPORT
↓	↓	↓
営業とSEの大幅増員	拠点間距離ゼロオフィス	保守力/サポート力強化

新しい技術・アイディアを活用したIT実証オフィスにトライ！

■ ビデオ会議の徹底使いこなしによるノウハウ充実にトライ！

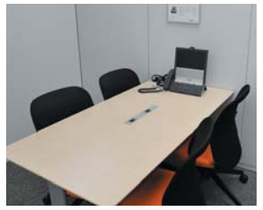
東京オフィスでは、すべての会議室にビデオ会議システムを導入。その数、なんと7種類・9セット！これは、ショウルーム的な意味合いからだけではありません。7種類の機材の使い方は、利用シーンに応じてさまざま。

65インチ2枚使い型

東京オフィス導入機器数	
120インチプロジェクタ型	×2
52インチ一体型	×1
22インチ卓上型	×2
7インチ電話型	×1
65インチ2枚使い型	×1
65インチ分離型	×1
42インチ分離型	×1

だからこそ、まずは当社で「使いこなし」を徹底。ノウハウのさらなる充実を図っているのです。
こうして自らビデオ会議のユーザーとして得た豊富な経験をもとに、お客さまにも“すぐに”フル活用していただけるソリューションをご提案していきます。

打ち合わせコーナーにもビデオ会議



7インチ電話型

■ 新たな「お役立ち」につながる新技術にトライ！

今後注目度大！の新しいテクノロジー。その新しさゆえの魅力とパワフルさを“すぐに”お届けできるよう、自らのオフィスで検証していきます。

新・セキュリティにTRY！ ▶ノンストレス手のひら静脈認証

手のひらの静脈パターンにより本人認証を行う静脈認証装置を導入。指紋などよりも偽造されにくく、安全性に優れているとされる最新の装置です。素早い認証でストレスフリー。

高速ワイヤレスにTRY！ ▶高速・耐ノイズ無線LAN

これまでの常識を覆す安全性とスピードを誇る無線LAN設備を導入。ノイズも少なく、安定的な通信が可能です。

画像新テクにTRY！ ▶高精度距離画像センサ

エントランスには、高精度距離画像センサを搭載したモニターを設置。距離に応じて画像が変わるため、新しい広告手段やセキュリティへの応用が期待されています。

新教育システムにTRY！ ▶スマートフォン向けコンテンツ作成ソリューション

大流行中のスマートフォン。スケジュール確認やテストなどに使用する学校が登場。学校と学生を結ぶ新たな絆になりうる存在として注目されています。

1 「PANで実現する『次世代クラウドインフラ』セミナー」を開催

当社は7月30日、東京オフィスにてデルとの共催で、「PANで実現する『次世代クラウドインフラ』セミナー」を開催しました。昨今、企業からクラウドコンピューティング（クラウド）に対する需要が高まっている一方、セキュリティ上の不安を抱える企業も多くあります。
当セミナーでは、米国イージェネラ社製のPAN Managerを利用した、当社のプライベートクラウド構築事例をご紹介しました。当日は定員を超える参加者が来場する盛況となりました。今後も当社は、お客さまに当社のノウハウとスキルを提供してまいります。

2 第12回定時株主総会動画配信中

当社は、6月16日に開催した第12回定時株主総会の動画を9月20日までインターネットで配信しています。
当社ホームページ「投資家向け情報」サイトの「株主総会」を是非ご覧ください。当社では、今後も株主・投資家のみなさまに、よりわかりやすい情報の提供に努めてまいります。

3 パナソニック電工ネットソリューションズ Webシステム『MajorFlow』シリーズ新バージョン続々発売

パナソニック電工ネットソリューションズは、『MajorFlow』シリーズの強化を継続的に進めています。改正労働基準法の施行や国際会計基準（IFRS）の採用に向けた動きなどに素早く対応した新商品、新バージョンを続々と投入しました。タイムレコーダーなどとの連携も含め、商品強化を進めてまいります。

ITインフラ

インフラとは、一般に上下水道や道路などの社会生活になくてはならない社会基盤のこと。ITインフラとは、インターネット回線や携帯電話など、いまや社会生活になくてはならない情報技術（＝IT）のことを言います。

ビデオ会議システム

遠隔地にいる人たちと映像および音声による会議を行うシステム。これにより、出張費や移動時間の大幅な削減が可能となり、遠隔地にいる人たちが簡単に会議を行うことができます。

スマートフォン

通常の通話、携帯電話やPHS単独で使用可能な通信機能だけでなく、本格的なネットワーク機能のほか、多種多様な機能を持つ携帯電話。米アップル社製のiPhoneのヒットを皮切りに、広く普及してきています。

Q 今年の株主総会の映像はインターネットで視聴できますか。

A 当社「投資家向け情報」サイトの「株主総会」（http://panasonic-denkois.co.jp/ir/shareholder/soukai/）でご覧になれます。
映像配信期間は、本年9月20日までです。

Q 配当金の受け取り方法や振込先の変更はできますか。

A 株式をお預けの証券会社等にお問い合わせください。
なお、特別口座の株主さまは住友信託銀行（電話:0120-176-417）へお問い合わせください。

Q 配当金の書類が届きません。

A 郵便事故により行方不明になっているか、ご不在であったため返送されている可能性があります。
お調べいたしますので、住友信託銀行の窓口（電話:0120-176-417）までお知らせください。
なお、ご家族が代わりに受け取られているというケースもかなりございますので、今一度ご確認をお願いいたします。